

2017.6.1-11.30

株主メモ

事業年度 6月1日～翌年5月31日
定時株主総会 8月
基準日 5月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法 電子公告の方法によります。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.pharmarise.com/>
証券コード 2796(東証一部)

株主優待のご案内

株主様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、並びに当社グループの事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として、株主優待を行っています。

●平成29年11月末基準(平成30年5月期)株主優待品●
●対象株主 平成29年11月30日時点で当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様●
●優待の内容 ①機能性アロマミスト
②アイボッシュ(除菌消臭水)
③薬用ハミガキ粉 デンタルポリス 2本
の中からおひとつを選択いただけます。
●贈呈時期 平成30年3月下旬～5月下旬頃(予定)●



ファーマライズホールディングス株式会社

株主通信 平成30年5月期
第2四半期

To Our Shareholders

「かかりつけ薬剤師・薬局」「健康サポート薬局」への進化

Top Interview

選ばれる薬局を目指して 一かかりつけ薬局・薬剤師の推進

グループ店舗数の状況

Topics

四半期連結財務諸表

会社概要

株主メモ・株主優待のご案内



ファーマライズホールディングス株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル
TEL 03-3362-7130 FAX 03-3362-7190

<https://www.pharmarise.com/>

証券コード 2796



To Our Shareholders

株主の皆様へ

「かかりつけ薬剤師・薬局」 「健康サポート薬局」への進化

当社グループのコア事業である調剤薬局事業においては、国や社会が求める薬局・薬剤師の責務や機能に対して順応していくと同時に、独自の進化を遂げ柔軟に対応しなければ、その流れの中に淘汰されてしまう程のうねりが起きております。

本年4月も制度改革が予定されており、1月12日に中央社会保険医療協議会(中医協)が取りまとめた「これまでの議論の整理案」を見ても、「薬連管理指導料の評価見直し」や「基準調剤加算の廃止」などの文言が盛り込まれるなど、調剤薬局業界は、今後より厳しい経営環境となっていくことが予想されております。

一方、現在、国が提唱する患者本位の医薬分業を実現するための「患者のための薬局ビジョン」に掲げられた精神は、今後とも受け継がれていくものと思われ、これからの医薬分業の方向性を示したものとして、「かかりつけ薬剤師・薬局」や「健康サポート薬局」等の施策は、これからの調剤薬局業務の中心になっていくものと捉えております。

このような環境の下、当社グループは、今後迎える超高齢化社会を見据え、これまで進めて来た「地域医療」への貢献をより一層加速することで、今後の安定した経営につなげてまいります。

また、当社グループでは、薬剤師は、薬事に関する専門性に加えて、コミュニケーション能力の向上が不可欠という基本スタ

代表取締役会長
大野 利美知



ンスを貫いてまいりましたが、薬局機能の“対物業務”から“対人業務”への転換についても強力に推進してまいります。

次回の制度改革について、当社グループが今後の地域医療を支えていくための大きなチャンスと捉えられるよう、その準備を進めているところであります。

最後に、事業展開の多様性についても、薬ヒグチ&ファーマライズを中心とした物販事業が改善の兆しが見え始めており、事業基盤の拡大や収益の改善といった課題を着実に解決し、地域の健康情報拠点としての地位を確立すべく、得られたノウハウを今後の事業展開に活かしてまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

Top Interview

トップインタビュー

選ばれる薬局を目指して ——かかりつけ薬局・薬剤師の推進——

Q. 当四半期(平成29年6月1日～平成29年11月30日)の業績について教えてください。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が272億32百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は5億84百万円(同241.5%増)、経常利益は5億26百万円(同328.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億11百万円)となりました。

売上高につきましては、前年同四半期以降に開局等した店舗並びに前年同四半期以降に新たに当社グループに加わった有限会社イノセ商事、株式会社エム・シー及び株式会社ミュートスが増収に寄与しました。

利益面では、物販事業は引き続き採算改善の途上にあるものの、調剤薬局事業において当第2四半期連結累計期間における処方せん単価(技術料、薬剤料)が想定に対し好調だったこと、及び経費抑制の効果等を主要要因として、営業利益・経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

Q. 通期(平成29年6月1日～平成30年5月31日)の業績予想について教えてください。

調剤薬局事業では、新規開局やM&Aにより取得した店舗の売上が加わることや、4月には調剤報酬・薬価改定が予定されておりますが、それまでの間、引き続き技術料の算定拡大を予想しております。

代表取締役執行役員社長
岩崎 哲雄



また、物販事業においては、増収基調にあります。併せて経費の抑制についても徹底してまいります。

以上により、通期連結業績は売上高546億円(前期比3.1%増)、営業利益10億15百万円(同129.2%増)、経常利益8億90百万円(同174.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億5百万円(同2,578.1%増)を予想しております。

Q. 下半期に注力することについて教えてください。

当社グループでは、“患者に選ばれる”会社を目指すという方針から、引き続き、かかりつけ薬剤師・薬局化及びセルフメディケーション・サポートの推進を、着実かつ強力に実施していくとともに、中医協での議論の動向を見極め、4月に予定されている制度変更には遅れることなく対応するための準備を進めてまいります。

また、従来から子会社や店舗の再編を進めていますが、収益性が悪化している店舗への対応も強化し、より経営・資本効率を高め“投資家に選ばれる”会社を目指してまいります。

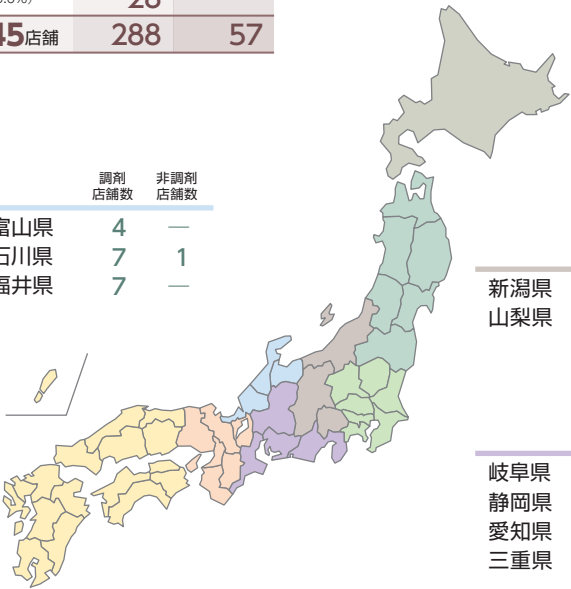
■グループ体系(平成29年11月末現在)

連結子会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
ファーマライズ株式会社 ^(株式会社 レイシアセンターを含む)	87	—
東海ファーマライズ株式会社	44	—
株式会社双葉	8	—
北海道ファーマライズ株式会社	49	1
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	8	—
新世薬品株式会社	16	—
株式会社寿データバンク	—	—
株式会社エシックス	15	—
株式会社ドゥリーム	5	—
薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社	15	55
株式会社フォーユー	5	—
株式会社エム・シー	7	1
有限会社イノセ商事	1	—
株式会社ミュートス	—	—
持分法適用会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
株式会社メディカルフロント ^(所有割合42.1%)	—	—
株式会社ヘルシーワーク ^(所有割合35.0%)	28	—
合 計	345店舗	288 57

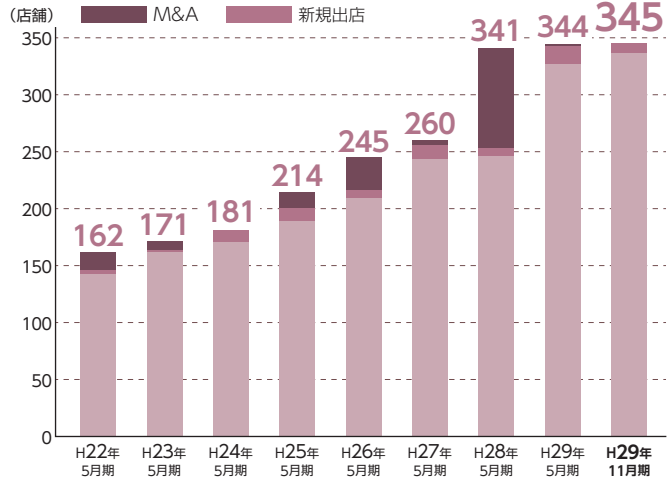
	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
滋賀県	3	—
京都府	8	4
大阪府	44	19
兵庫県	17	—
奈良県	2	—
和歌山県	4	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
富山県	4	—
石川県	7	1
福井県	7	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
香川県	—	2
佐賀県	—	1
宮崎県	1	—
沖縄県	5	—



■グループ店舗数の推移



■都道府県別出店状況(平成29年11月末現在)

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
北海道	47	1
宮城県	11	1
秋田県	2	—
山形県	1	—
福島県	11	—
新潟県	15	—
山梨県	1	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
岐阜県	2	—
静岡県	14	—
愛知県	13	—
三重県	9	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
北海道	47	1

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
宮城県	11	1
秋田県	2	—
山形県	1	—
福島県	11	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
茨城県	3	1
栃木県	1	—
群馬県	8	—
埼玉県	6	—
千葉県	5	2
東京都	31	20
神奈川県	6	5

地域の医薬品、健康情報の発信拠点として

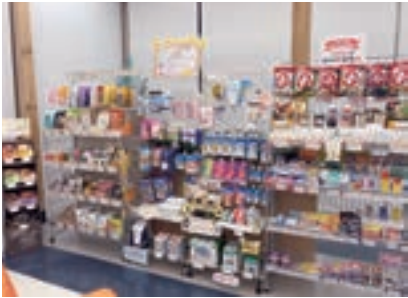
○物販事業

ファーマライズグループでは、従来から展開している調剤薬局においても物販に注力し、一般用医薬品及び健康食品等のセルフメディケーションや健康増進に関連する商品の販売にも積極的に取り組んでおります。

患者・利用者の皆様からのご要望による商品、季節の商品等も設置し、地域医療に貢献する健康情報発信基地としての機能を果たしてまいります。



東室蘭薬局(北海道)



石巻店(宮城県)

○みんなの健康ラウンジ

薬局機能の強化を図るため、当社グループが運営する店舗内において「みんなの健康ラウンジ」を設置し、患者・利用者の皆様への健康に関する提案を行う取り組みを開始いたしました。今後、全国の店舗にも展開し、設置店舗を順次増やしてまいります。



住吉駅前店(兵庫県)

組織再編

経営効率の向上を図るため、平成29年6月に株式会社鬼怒川調剤センター(栃木県1店舗)について、ファーマライズ株式会社を存続会社として吸収合併しました。

組織再編については、更なる経営効率の改善にむけ、今後とも順次取り組んでまいります。

開局・出店8店舗(連結ベース)

平成30年5月期上半期(平成29年6月1日～11月30日)は、**調剤薬局6店舗、ドラッグストア2店舗**を開局・出店いたしました。

調剤薬局店舗	ドラッグストア店舗
6月 のびるが丘店(宮城県)	7月 中野坂上西店(東京都)
9月 東室蘭薬局(北海道)	8月 行徳駅前公園店(千葉県)
中山店(千葉県)	
行徳店(千葉県)	
11月 本八幡店(千葉県)	
足田店(石川県)	

四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期末 (平成29年11月30日現在)	前期末 (平成29年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	8,832	8,361
固定資産	16,062	16,169
有形固定資産	6,907	7,011
無形固定資産	6,107	6,170
投資その他の資産	3,048	2,988
繰延資産	8	9
資産合計	24,903	24,540
負債の部		
流動負債	10,397	9,801
固定負債	8,619	8,838
負債合計	19,017	18,639
純資産の部		
株主資本	5,456	5,342
資本金	1,174	1,174
資本剰余金	1,252	1,160
利益剰余金	3,029	3,008
その他の包括利益累計額	△9	△12
新株予約権	140	112
非支配株主持分	298	458
純資産合計	5,885	5,900
負債及び純資産合計	24,903	24,540

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 (平成29年6月1日から 平成29年11月30日まで)	前第2四半期累計 (平成28年6月1日から 平成28年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△485	477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△340	△256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255	△387
現金及び現金同等物の増加額	△1,081	△167
現金及び現金同等物の期首残高	3,734	3,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,653	3,152

■ 四半期連結損益計算書(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 (平成29年6月1日から 平成29年11月30日まで)	前第2四半期累計 (平成28年6月1日から 平成28年11月30日まで)
売上高	27,232	25,236
売上原価	23,243	21,802
売上総利益	3,989	3,434
販売費及び一般管理費	3,404	3,263
営業利益	584	171
営業外収益	58	121
営業外費用	116	169
経常利益	526	122
特別利益	1	2
特別損失	61	31
税金等調整前四半期純利益	466	93
法人税等	386	271
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	79	△178
非支配株主に帰属する 四半期純損失	68	66
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	148	△111

■ 四半期連結貸借対照表	
●総資産の残高は、現金及び預金の残高が減少した一方で、売上債権が増加したことを主因として249億3百万円となり、前連結会計年度末残高に対し3億62百万円増加いたしました。	
●負債の残高は、借入金と未払法人税等の増加を主因として190億17百万円となり、前連結会計年度末残高に対し3億77百万円増加いたしました。	
●純資産の残高は、連結子会社に対する持分比率増加に伴い非支配株主持分が減少したことにより58億85百万円となり、前連結会計年度末残高に対し14百万円減少いたしました。	
■ 四半期連結損益計算書	
●売上高は、前年同四半期以降に開局等した店舗並びに前年同四半期以降に新たに当社グループに加わった子会社が増収に寄与し、272億32百万円(前年同期比7.9%増)となりました。	
●着実な技術料算定増加等による処方せん単価の向上等により、営業利益は5億84百万円、経常利益は5億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円と増益となりました。	
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	
●営業活動の結果減少した資金は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、のれん償却額等を計上した一方で、売上債権の増加、法人税等の支払を主因として、4億85百万円(前年同期は4億77百万円の収入)となりました。	
●投資活動の結果使用した資金は、新規開局や連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出があった一方で、貸付金や差入保証金の回収による収入があったこと等を主因として、3億40百万円(前年同期比83百万円増加)となりました。	
●財務活動の結果減少した資金は、短期借入金の増額があった一方で、社債の償還やリース債務の返済による支出、配当金の支払等を主因として、2億55百万円(前年同期は3億87百万円の支出)となりました。	

会社概要

■ 会社概要(平成29年11月30日現在)	
設 立	昭和59年6月
社 名	ファーマライズホールディングス株式会社
資本金	1,174,328千円
本店所在地	東京都中野区中央一丁目38番1号
主な事業内容	持株会社(調剤薬局事業などを営むグループ会社を統括する管理運営会社)
ホームページ	https://www.pharmarise.com/
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社横浜銀行 他
連結従業員数	1,869名(非常勤含む)

■ 役 員(平成29年11月30日現在)	
代表取締役会長	大 野 利美知
代表取締役執行役員社長	岩 崎 哲 雄
専務取締役執行役員	秋 山 昌 之
取締役(社外)	尾 中 哲 夫
取締役(社外)	渡 邊 則 夫
取締役(社外)	多 田 宏
常勤監査役	小 高 芳 夫
常勤監査役(社外)	西 郷 理 夫
監査役(社外)	榎 本 孝 之

■ 株式の状況(平成29年11月30日現在)	
発行可能株式総数	31,398,000株
発行済株式総数	9,039,050株
株主数	10,786名

■ 大株主の状況(平成29年11月30日現在)		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大野 利美知	3,159,900	35.0
中北薬品株式会社	396,000	4.4
株式会社バイタルネット	396,000	4.4
株式会社ほくやく	396,000	4.4
ファーマライズ従業員持株会	349,700	3.9
大野 小夜子	275,740	3.1
エア・ウォーター株式会社	150,000	1.7
日医工株式会社	150,000	1.7
平松 仁	132,700	1.5
明治安田生命保険相互会社	100,000	1.1

■ 主要仕入先		
アルフレッサ株式会社	中北薬品株式会社	
岩瀬薬品株式会社	株式会社バイタルネット	
株式会社スズケン	株式会社ほくやく	他

■ 主要な連結子会社(平成29年11月30日現在)		
名 称	住 所	事業内容
ファーマライズ株式会社	東京都中野区	調剤薬局事業
東海ファーマライズ株式会社	愛知県名古屋市	
株式会社双葉	京都府京都市	
北海道ファーマライズ株式会社	北海道苫小牧市	
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	大阪府大阪市	
新世薬品株式会社	兵庫県淡路市	
株式会社エシックス	新潟県新潟市	
株式会社ドゥリーム	沖縄県沖縄市	
株式会社フォーユー	福井県福井市	
有限会社イノセ商事	埼玉県所沢市	
株式会社エム・シー	宮城県仙台市	
薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社	東京都中野区	物販事業 他
株式会社寿データバンク	栃木県足利市	医学資料保管・管理事業